

「受賞者の喜びの声」

善行表彰を受けて

群馬県前橋市
富士スバル株式会社



この度、明治神宮参集殿において、平成二十八年秋善行表彰を賜り厚く御礼申し上げます。弊社は群馬県太田市で生産されたスバル車を群馬県民のお客様に販売しているスバルの自動車ディーラーです。私たちが『すべてはお客様のために』という企業理念のもと、スバル車の地元で

虫と共に 子供たちと共に

北海道遠軽町
NPO法人
丸瀬布昆虫同好会
理事長 佐藤 正美



この度、平成二十八年秋善行表彰を賜り、心より感謝し厚くお礼を申し上げます。昆虫同好会を設立して三十二年がたちます。この間、地域の昆虫生態館を中心に来館者へのガイド、展示昆虫採取、食草

ある群馬県において、お客様の要望に最高のお応えができることを目指して邁進してまいりました。また、地域貢献活動に意欲的に取り組んでおり、今回の善行表彰の受賞理由となりました。官公庁への車両提供は昭和四十年から五十二回を数え寄贈台数は百八十六台となりました。その他、青少年への健全育成・福祉・文化・スポーツ・ボランティア活動など多岐に渡ります。このように社会貢献活動を継続できるのもお客様をはじめ私たちが取り巻く全ての方々のおかげだと感じております。最後に日本善行会の益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、弊社の活動を推薦して頂きました関係各位に心より感謝いたします。大変ありがとうございました。

の管理、希少種保護、外来生物駆除の活動をして参りました。また、自然ガイドや地域活動への協力も行っています。平成五年からは、地域の児童生徒を組織して自然体験活動(昆虫採集や魚取り、植物採取に川遊び、雪山滑りや厳寒体験)を行っており、豊かな自然を生かしての毎月の活動は、子供たちだけではなく一緒に活動する大人たちも感動をいただいております。大震災以降は、地域の消防署員のお力もお借りして防災教育も行っています。今回の表彰は、活動を楽しくしてくれた子供たちそして共に活動している仲間たちのおかげと感謝しております。今後とも子供たちのため、地域のために活動をして参ります。ありがとうございます。

ご接見の栄に浴して

青森県八戸市

坂本 敏男



この度、長寿善行者として東宮御所に招かれ、皇太子殿下のご接見の栄を賜り喜びとともに、八戸支部はじめ関係各位に感謝申し上げます。当日は暑いぐらいの晴天に恵まれ、明治記念館で記念撮影、会食も終わり、東宮御所へ移動する事になりました。日月の間に入る際の説明があり、名前を呼ばれ前列に案内されました。

思いもよらず前列中央に座る事になりビックリしました。殿下の直前で少し肩が力が入った気がしました。左から順次お声をかけられ、私の前に来られた時は少し硬くなっていました。一分に満たない時間だと思いましたがお話しされ、励ましの言葉を頂戴いたしました。この度、長寿善行者として東宮御所に招かれ、皇太子殿下のご接見の栄を賜り喜びとともに、八戸支部はじめ関係各位に感謝申し上げます。当日は暑いぐらいの晴天に恵まれ、明治記念館で記念撮影、会食も終わり、東宮御所へ移動する事になりました。日月の間に入る際の説明があり、名前を呼ばれ前列に案内されました。

愛知県刈谷市

近藤 洋令



東宮御所にお招きいただき、皇太子殿下のご接見の栄に浴しました事は、誠に光栄の極みでございます。

全国の皆様方の中に、自分が列しているその幸運に喜びを覚え、帰りましても御所の勝景を嬉しく思い出してあります。何が出来るか、何をしたら、何を与えられるのか、能力と気力、体力の

千葉県千葉市

菊池 恒廣



この度、一般社団法人日本善行会長長寿善行者の皇太子殿下ご接見の栄を賜り心から感謝申し上げます。

十月二十六日ご接見者百十四名は明治記念館に集合し、善行会本部の皆様により、緑多い荘厳な雰囲気漂う東宮御所に、そして「日月の間」に案内していただきました。しばらくして殿下が入室され、藤田会長からご接見のご挨拶があり、北海道より参加された小西さんが代表して御礼の言葉を述べたのち、殿下へ。

福島県郡山市

館川 洋



豊穰の秋、日本善行会長長寿高齢者の東宮参内で皇太子殿下にご接見の栄に浴する吉報が届き、緊張の毎日を過ごしました。

出発の十月二十六日は絶好の秋晴れ、福島県からの三名と一緒に、わくわくする心を抑えながら、山崎支部長の見送りを受けての旅立ちでした。明治記念館から東宮

下よりお言葉を賜りました。

殿下は前列の皆さんに近づき声をかけられ、小生にも「どんな活動をされていますか」とご下問され、「私は四十年前から手品で幼稚園や高齢者施設を訪ねて喜んで頂いています」と申し上げました。「それは楽しいですね。これからも続けて下さい」と身に余るお言葉を賜り、この上ない感激でした。

来年度は千葉市社会協会の依頼もあり、身体障害者のみなさんへの手品の指導と、知的障害者のみなさんの慰問を予定しています。殿下の言葉を糧に今後、社会福祉活動を続けていこうと決意しています。

「東京ブロッック会 と浅草寺巡り」



快晴に恵まれた平成二十八年十一月四日、会員三十九名の参加による「スカイツリーと浅草寺巡り」の旅を行いました。平日にも関わらず東京スカイツリーと浅草寺は観光客で大混雑でしたが、三百六十度、東京の大半が眺望できる350mの「天望デッキ」からの景色に参加者全員が満足。その後「東京ソラマチ」でのショッピングを楽しんで浅草へ移動、台東区支部馬場副支部長がオーナーの「ホテルニュー漁眠荘」での馬場さん心尽



くしの食事を楽しみ、午後は雷門から浅草寺への参詣をしました。今回は一般的にはご覧いただけない本堂をぐるりとめぐる回廊も台東区支部折原副支部長のお力で拝見できました。更に、江戸三大祭で知られる「浅草神社(浅草寺とは別です)」を参拝、希望者は影向堂(ようこうどう)へ移動、この堂内には浅草名所(なごころ)七福神の内「大黒天」が祀られており、御朱印所も併設されており、御朱印も併設されており、併せてお参りすると必ず願いが叶うという目出度いお堂での散会となりました。

善行川柳

選者 東 逸平

○声かけりゃ 子供逃げ行く 世の寒さ
北海道 齊藤 勉
評/枯れた文体です! (世の寒さ)の字句は抜群ですよ。
○母見舞い 時を忘れる 日々介護
東京都 松田多恵子
評/大切な時間をさりげなく述べています。ことばの韻律も鮮やかです。

○つり銭を そのまま入れる 募金箱
香川県 丸野 忠義
評/いいですね。善行川柳のテーマを見事に表現していますね。
●師走に寄せられた今号の川柳は、どの作者も見事な腕前を披露しています。川柳の極意に達しつつありますね。
この名調子でこの年も善行を17文字に託しましょう。